

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.26 —

— ごあいさつ —



副院長・緩和医療科長 星野 彰

平素より大変お世話になっております。新型コロナウイルスで大変な毎日ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。この原稿を書いている2月末の時点で「この1～2週間が瀬戸際です！」と発表がありました。皆さんがこの「ハーモニー」を手にする頃も、まだまだ大変な日々が続いていることと思いますが、まずは皆さんご自身が健康でいられるように、そしてなんとか感染が落ち着いてくれることを願っています。

さて昨年から今年にかけて、岩手医大と総合花巻病院が新病院に生まれ変わり、さらに秋には北上済生会病院も新病院に移行するという嬉しい出来事が私たちのまわりで続いています。今までも当院はこの3つの病院と連携を密にしてきました。これからもお互いの役割分担を意識しながらスムーズな連携を続けていきたいと思っております。

一方、昨年は当院の各科の診療体制についていろいろとご心配をおかけしました。この春にも医師の入れ替わりはありますが、なんとか各科の診療を維持することができそうです。フレッシュなメンバーで皆様とのあらたな連携を築いていきたいと思っております。

地域連携室も世代交代いたします。4月からは循環器内科齊藤先生に連携室を引っ張ってもらうこととなります。私は病院のすまっこのほうから皆様のますますの活躍を見守ってまいります。

今後も皆様どうぞよろしくお願いいたします。まずは地域一丸でコロナを乗り切りましょう。



地域医療福祉連携室長・第1循環器内科長 齊藤 秀典

いつもたいへんお世話になっております。2020年度から地域医療福祉連携室長を任命されましたのでごあいさついたします。

今年は地球温暖化の影響なのか特に雪が少なく、雪かきが原因の心筋梗塞や心不全の患者さんはほとんどいなかったような気がします。地球規模では温暖化は問題ですが、この地域の冬の寒さが和らぐのであれば体には優しいのかもしれませんが(少なくとも夜中の急患が減って私には優しくはなりましたが・・・)。農作物などは暖冬で後々たいへんな事になってしまうのかも・・・。

地域医療福祉連携室についてですが、今後前室長の星野先生や室員の方々に教わりながら仕事をしたいと思っております。岩手県は2019年の厚生労働省が公表した医師偏在指数で全国最下位となりました。特に中部地区は二次医療圏別の目標医師数からみると、県内でも一番医師が足りていない地域という結果になっています。交通や流通の発展、AI、再生医療などなど世界は様々な面で今までとは異なった発達の段階に入ってきています。それに伴い医療にも今までと異なった新たな問題が生じてくると思われれます。

他の地域に比べ医療者が少ない中部地域でこれから問題を解決していくためにはますます連携が重要となります。現時点ですでに様々な分野で活躍されている地域の先生方がいらっしゃると思いますのでこれからいろいろと教えていただき、よりよい地域医療連携を築いていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年 12 月 13 日 (金)、NST 講演会が開催されました。今回は「リハビリテーションと栄養」と題して、横浜市立大学附属市民総合医療センター 准教授 若林秀隆先生をお招きしてご講演いただきました。

近年、栄養状態の維持や改善につなげるため、単に栄養摂取量の増減を目的にせず、栄養障害を引き起こす様々な原因を多職種で評価することが必要となっています。「リハ栄養」は障害者やフレイル高齢者において「リハ」と「栄養管理」を同時に行う概念であり、機能、活動・参加、QOL を最大限高めることをわかりやすく教えていただきました。

講演会には、院内外から 100 名の方に参加いただきました。参加者からは「時間を忘れるくらい興味をもち勉強できた」「自施設でもリハと連携していきたい」との感想をいただき、栄養管理におけるリハの有用性を示すことができたと考えております。

今後も当院 NST 委員会では、他職種が参加可能な研修会を企画していきますので、ご期待ください！



～～「いわて中部ネット」への情報提供～～ 近日中に「内視鏡画像データ」公開

当院では、平成 29 年 10 月 20 日から稼働した「医療と介護の情報をつなぐ医療情報連携ネットワークシステム『いわて中部ネット』」に「病名・処方・注射・入退院・処置・手術・画像を含む検査結果」の各データを公開しており、近日中には「内視鏡画像データ」を公開予定です。

急性期から慢性期、在宅まで多職種によるシームレスな連携を実現するため、地域の関係機関の皆様と情報共有を図りながら、地域医療の充実とともに幸せな街創りのために貢献していきます。



お食事処 ちゅうぶ

第 10 号は
「熟煮」のご紹介

自分で噛んで食べられるように
～もっとおいしい熟煮を～



今年度、患者さんが、安全に食べることができる食形態（ゼリー状、きざみ状など食べ物の形状）を提供するだけでなく、自宅でも手軽に作ることができる調理方法を試行してきました。

当院で「熟煮」と呼んでいる食形態は、以前はきざみ状でした。調理師等から、食べる方が目で楽しむ意欲を引き出したい、満足度をあげたい、自宅でも調理ができる方法で提供したいという声が集まり、食材の形があり、歯茎で押しつぶせるやわらかさの調理方法に変更しました。

将来は、地域住民が自宅で療養できる一助となれるよう、「食」の架け橋になればと思います。

新任医師紹介



しまだ やすよし
島田 泰良

着任	令和2年1月
診療科・職名	脳神経外科・脳神経外科医長
学会資格等	脳神経外科学会、脳神経外科コンgres、 脳卒中学会、脳卒中外科学会
ひとこと	よろしくお願いします。精一杯頑張ります。



やまだ しゅうへい
山田 修平

着任	令和2年2月
診療科・職名	外科・医師
学会資格等	日本外科学会外科専門医
ひとこと	2月から赴任しました山田修平です。質の高い安全な医療 を提供できるように努めます。よろしくお願い致します。

INFORMATION ~ 令和2年度診療体制のご案内 ~

毎年のことですが、令和2年度においても多くの診療科で診療体制が変わります。

引き続き、現在の診療科で診療を行う体制に変わりはないものの、医師の退職や研修医の減少、産婦人科をはじめとする医師の異動等により、これまで消化器内科で診療を行っていた「虫垂炎・胆のう炎・腸閉塞・憩室炎」を外科で診療することになるほか、血管外科でおこなっていたシャントメンテナンスが終了するなど、診療体制が変更となる見通しです。

地域医療支援病院として、患者さんの受け入れ体制向上に努めているところですが、当院の診療体制等について、ご意見ご要望があれば遠慮なく地域医療福祉連携室までお寄せください。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

例年のこととはいえ、心苦しい状況ではありますが、これからも地域の皆様と連携を図りながら、より充実した医療の提供ができるよう、また、住民の皆さんの高齢化を踏まえた地域包括ケアシステムの充実に努めていきたいと思っております。

〈 詳しい診療体制は次号でお知らせいたします 〉

ご紹介します

えくなるプラザ (患者・家族支援センター)



昨年7月に院内に開設いたしました「えくなるプラザ」。

今回は「えくなるプラザ」で行っている業務内容とメンバーのご紹介を致します。

●入院支援

- ・入院前の患者情報の聞き取り
- ・入院前から支援出来るよう、各部署と情報共有・連携

●退院支援

- ・退院後の生活における不安について
- ・在宅療養について
- ・転院のご相談
- ・退院後の情報交換

●患者・家族相談

- ・医療費や福祉諸制度について
- ・家庭、職場、学校生活について
- ・誰かに話を聞いてほしい…など

●がん相談支援

- ・がんに関すること
- ・緩和ケアについて
- 地域医療連携
- ・医療機関との連携
- ・介護施設との連携
- ・歯科医院との連携



「えくなるプラザ」では患者さま・ご家族さまのご相談にワンストップで対応出来るよう、多職種が連携しながら、チーム一丸となって取り組んでおります。来院するとすぐ目に付く場所に開設しているため、今まで以上にご相談に足を運んでいただける機会が増えております。些細なことでも構いません。何か気になることがありましたら、ぜひ「えくなるプラザ」へお立ち寄りください。

今後ともよろしく願いいたします。

地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待ちせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともあります。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院
地域医療福祉連携室

〒024-8507
岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 (代表)
0197-71-1518 (連携室直通)
FAX 0197-71-1881 (連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>



2020年3月